

## 2007 年度 第2回日本総合診療医学会運営委員会の記録

日 時：2007 年 6 月 23 日（土） 11 時 30 分～13 時 30 分  
場所：東京グリーンホテル

出席（順不同、敬称略）：小泉、江村、大西、武田、大野、井村、佐藤（伴氏の代理）、郡、小泉（順）、尾藤、杉本、山本、山城、林、箕輪、大滝、生坂（17 名）

欠席：福井、松村、福原（3 名）

### 議事要旨

冒頭小泉運営委員長より次の 4 名の新運営委員を指名したことが報告された。井村洋氏（飯塚病院）、福原俊一氏（京都大学）、松村理司氏（音羽病院）、大野每子氏（唐津市民病院）

1. 第 15 回学術集会の会計報告；小泉順二氏より**資料 1**のように報告された。

2. 第 16 回，第 17 回学術集会の案内

佐藤氏より第 16 回（2008 年度）：名古屋大学，2008 年 3 月 8 日（土）－9 日（日），名古屋市公会堂で、「日本の医学・医療を変革する－発信する総合診療」をテーマに開催されることが報告された。

第 17 回（2009 年度）は、九州大学で 2009 年 3 月 13 日（金）、14 日（土）九州大学医学部百年講堂にて開催される。

3. この間の動き

①この間の 3 学会としての動きに関する報告

5 月 26 日，日本プライマリ・ケア学会（宮崎）での 3 学会合同記念シンポジウム「家庭医機能を担う新しい専門医の育成 その 2」において，江村氏が学会の立場から発言した。

（**資料 2**）

②日本医師会と共同の認定総合医に関する作業

日本医師会学術推進会議より，日本総合診療医学会，日本プライマリ・ケア学会，日本家庭医療学会に協力の要請があり，各学会から 2 名のワーキンググループ構成メンバーを推薦することになり，大滝・尾藤両氏がメンバーとなった。日本医師会と 3 学会の 4 者が生涯教育の仕組みを作ることになった。

③日本医学会の分科会への申請について

本学会は、学術会議には所属しているが日本医学会への加盟申請をしてこなかった。加盟申請の是非、「総合科」「総合医」というこの間の動きの捉え方について議論したが、運営委員会としては、加盟申請に必要な条件について整備すること、3 学会でまとまりひとつになって日本医学会へ加盟申請するというコンセンサスを得た。また運営委員会としては基本的には 3 学会の合同を目指すこと、しかし本学会は病院総合医としての独自性をもつことは踏まえながら進む。3 学会の一体化について会員に対して HP，ニューズレター、メ

ルマガなどで意識調査や広報活動をするようになった。担当：大西、尾藤、大滝

4. 山城氏が、6月9、10日、聖路加で後期研修WGの記録を基にした総合医に関する概念整理を行い病院総合医後期研修プログラムの案を作成したことを報告した。9月を目標にまとめる。(資料 3) 認定施設、認定制度をどうするかは今後検討する。

5. 尾藤氏が、“社会への情報発信”として、昨今のプライマリ・ケアに関連する医療問題に対するPC系3学会の共同声明作成案を示した。6月24日の3学会合同会議に提案する。

(資料 4)

6. 2007年度の活動について：各種委員会やWG（事務局・総務・監事・広報・国際・診療・教育・研究・会則・地方会・3学会合同会議・プライマリ・ケア教育連絡協議会・GPEPなど）のテーマやメンバーについて、小泉氏が各運営委員に依頼し、具体化することになった。

7. 事務局より個人情報保護方針の案が示された。(資料 5)

8. 運営委員会の旅費について：運営委員会のみに参加する場合や出張旅費が使えない場合、基本的に旅費の片道分を補助する。今後は運営委員会の案内状に招聘状を付す。

9. 事務局より General Medicine 8巻1号の進行状況を報告した。(資料 6)

以上

記録： オフィス・カイ

日本総合診療医学会事務局

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里4丁目5番-17号

エスプラナード4517 507号

Tel : 03-5685-5802 Fax : 03-5685-5805

email : office-kai@pure.ocn.ne.jp